

掛川みなみ商工会 会長 若杉 吉明

今年度を顧みますと、我々掛川みなみ商工会も「コロナ」に翻弄された1年でした。多くの会員の方々にとっても、苦しく厳しい年となり、商工会としましては、商工会の本来の事業である「会員皆様への支援」について、改めてその重要性を認識する年ともなりました。行政による様々な給付金や補助金の申請への支援、融資や雇用に関する相談会の開催等、会員の皆様と共にコロナと戦ってきた1年でした。

三遠南信地域の皆様におかれましても、地域経済や様々な交流・連携事業に大きな影響があり、前進したくとも出来ないもどかしさに、多くの方々が苦慮されていることは、想像に難くありません。

このような情勢の中で、私たちは新たな覚悟をもって、地域の活性化に取り組まなければな

りません。基本的な生活環境・経済環境が大きく変容してしまったことを、ただ嘆くのではなく、従来にない柔軟な考え方を持って、今の状況を大きな前進の機会ととらえ、改めて何をどうしたら何ができるのか、地域の活性化とはそもそも、どのような状況を目指しているものなのか、各自の役割は何なのか、を今一度見直していかなければならないでしょう。

私たち掛川みなみ商工会は、三遠南信地域の皆様との連携をはかりながら、地元の掛川市南部地域に根ざした活動に従来以上に注力し、さらには静岡県中部地域と西部地域の橋渡しの役割も担っていけるよう、誓いも新たに、新たな環境に対応していきます。

改めて、三遠南信地域の皆様のご理解とご協力・ご支援をお願いし、「第28回三遠南信サミット2021 in 遠州」へのメッセージといたします。